

市測協だより

(第48号)

平成27年 1月 発行

一般社団法人 福岡市設計測量業協会

福岡市中央区薬院1丁目6番16号

〒810-0022 百田興産ビル201号

TEL (092) 751-8246

FAX (092) 751-2271

URL: <http://f-shisokukyo.or.jp>

E-mail: info@f-shisokukyo.or.jp

福岡市長
高島 宗一郎



新年あけましておめでとうございます。

福岡市設計測量業協会の皆様方におかれましては、
つつがなく、新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃から福岡市の公共事業の推進並びに防災活動へのご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

これまで、地場企業の皆様の健全な経営環境を確保するため、公共事業の地場企業への優先発注や、早期発注など、様々な対策に取り組んでまいりました。

さらに、地域の企業の皆様の採算性を確保しつつ、公共事業の円滑な施工を確保することを目的として、昨年、「福岡市中小企業・小規模事業者振興推進本部」を設置し、「福岡市中小企業・小規模事業者振興推進プラン」を策定いたしました。

現在、プランに基づき、全庁をあげて中小企業・小規模事業者の皆様に対する、さらにきめ細かな支援を実施しているところでございます。

さて、福岡市は国家戦略特区「グローバル創業・雇用創出特区」に指定され、国内外からチャレンジしたい人が集まり、新しい価値を次々と生み続ける都市を目指して様々な取り組みを進めています。特区によって生み出された新しい製品やサービスと既存のもののマッチングを促進することで、さらに新しい価値を生み出し、地場企業の皆様の成長、発展にもつなげてまいります。

福岡市は、「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」を目指して、これからもチャレンジを続けてまいりますので、引き続き、皆様のお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりましたが、この新しい年が、貴協会の会員の皆様にとって素晴らしい年でありますよう祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

写真：愛宕山からみた百道

一般社団法人 福岡市設計測量業協会(市測協)会員はふくおかを愛し、ふくおかの発展に全力をつくします。

新年のごあいさつ

一般社団法人福岡市設計測量業協会
会長 尾川 昇



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、日頃からたいへんご理解を賜り執行部と致しまして、厚く御礼を申し上げますとともに、新年を迎えるにあたり会員各位様に幸多かれと、ご祈念申し上げます。

昨年は、行政の方々と市民の皆様には、当協会の活動の「見える化」を図るため、飲酒運転の撲滅、道路瑕疵の調査を行ないました。

とりわけ、道路瑕疵調査については会員各社の方々から、専門家立場で詳しくしかも、隅々まで調査頂き真に有難うございました。早速、福岡市担当部局に持参し、貴重な資料といたしますとの、お礼のお言葉を頂きました。

今回は、会員の事務所単位にエリアを決めて行ないましたが、今後調査エリアの改善を行うことにより、全体を網羅出来ればと思います。このように、当協会が福岡市担当部局の方々と、直接、安心安全の街づくりに協力することが、「見える化」に一歩ずつ前進するものと思います。

次に、当協会が政策要望として、地場企業としての棲み分けは、最も重要な案件であります。この事は、行政当局のご理解が出来るように、私どもが常に心がけることが、必須条件となります。何故ならば、資格取得、規模等の数値では、大手コンサルと勝負になりません。

しかし、当協会が一致団結することにより、全国の大手コンサルには絶対に負けることはありません。地域密着型のきめ細やかな対応、万一の災害時の防災ネットワーク等、これらの対応には、当協会員相互の、協力と、友愛、倫理を遵守し、そのことを共有することを宣言いたします。

最後になりますが、我が街福岡市は経済特区として、地方都市第一号の認定を受け益々、アジアの拠点を目指し発展が約束、人口増も見込まれます。アジアの中心都市福岡の街づくりに、当協会員が市民の方々と一緒になって、「住みやすい街福岡」を創造したいと思います。

理事会報告

8月 5日 ・福岡市へのPR活動実施
福岡市の各部局・各区役所等

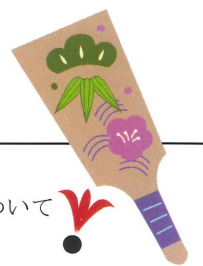
8月22日 ・福岡市へのPR活動実施報告
・各部会報告
・県測協との連携について
・飲酒運転撲滅キャンペーン活動について
・品確法運用指針に係る意見の提出について
・代表者変更に伴う保証人制度について

9月17日 ・市測協行政連絡協議会報告
・新規会員勧誘について
・平成26年度技術講習会について
・飲酒運転撲滅及び道路瑕疵に関する会員への
具体的行動指針について
・福岡建設関連産業協議会、意見募集について
・平成26年度講習会報告

10月 6日 ・平成26年度中間事業報告について
・各部会報告
・建設ナビ資料について
・福岡市長選挙について
・平成26年度取組方針に関する実施要領について

10月30日 ・福岡市長選挙について
・政策要望について
・公益目的支出計画の実施完了について

11月27日 ・各部会報告、経営者研修会等について
・平成27年新年賀詞交歓会について
・県測協との懇話会報告
・入会審査基準の改定について
・新入会の承認について
（旬鐘ヶ江設計
・福岡市へのPR活動について



平成26年度取組方針の活動報告

当協会は、福岡市民に対する社会貢献活動（公益目的事業）の柱として次の2項目を平成26年度の取組方針としています。

- ・飲酒運転撲滅宣言の採択及び 飲酒運転撲滅大会への参画
- ・市内一円の道路管理瑕疵に関する情報提供制度への参画

行政との協働・連携により福岡市担当部局から信頼を得るべく、地元企業としての役割をしっかりと果たしてまいります。

飲酒運転撲滅大会への参画

福岡市市民局生活安全課から「飲酒運転ゼロを誓う、市民の集い2014」についての協力依頼があり、社会貢献活動の一環として、8月25日、福岡市役所西側ふれあい広場において開催された「飲酒運転撲滅大会」に参加した。



▲飲酒運転撲滅大会への参加

道路管理瑕疵に関する情報提供制度への参画

福岡市内一円の道路管理瑕疵に関する情報提供制度への参画として、10月20日から25日までの期間に、会員各社が一斉に道路管理瑕疵の点検調査を行いました。

調査範囲は、会員事務所周辺（半径1km程度）でしたが全部で387箇所の破損情報が得られました。

この調査結果は、福岡市道路下水道局管理部道路維持課へ提出し、評価を頂きました。

今後は、会員各社等が発見した道路管理瑕疵情報は各区役所へ通報してください。この作業も市測協の実績となりますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

なお、次年度以降の協会としての一斉点検等について、再度検討していきますが、今回調査後のアンケートにより、調査時期を年度初めの閑散期（5～6月）にすることと、調査範囲（調査路線）の振り分けを行いたいと考えています。

また、破損の程度・レベルの基準を福岡市当局と設計・防災委員会で協議のうえ、今後の調査に反映し、市民の安心安全のまちづくりに貢献していきたいと思えます。

一斉点検で行った破損箇所等

防災委員会 福澤 一博

地区	東区	博多区	中央区	南区	城南区	早良区	計
舗装の穴、陥没	7	31	1	13			52
舗装の破損、剥がれ	7	68	5	49	2		131
蓋の破損、ズレ	2	15		39			56
防護柵の破損	2	18		6			26
カーブミラーの破損		4		5		1	10
その他	10	52	3	46		1	112
破損箇所件数	28	188	9	158	2	2	387



▲ 舗装の穴



▲ 舗装の破損



▲ 防護柵の欠損

福岡市の土木遺産—名島橋とその周辺

(株)エムテックエンジニアリング□
松本秀満

名島橋は、昭和8年に完成した多々良川に架かる7連の鉄筋コンクリートアーチ橋です。全長204.1m、全幅24.0m、片側3車線で、現在の1日当たりの交通量6万台以上に十分対処できる規模です。

また、この橋梁の設計者が建築家だったこともあり、外装が御影石張りである上に、アーチ窓の高欄やバルコニーを配置した欧風な容姿となっています。

名島橋が、当時としてなぜこのような大きな規模で、しかも景観を重視した設計になったのか、諸説あるようです。

その1つが名島飛行場の代用施設説です。万が一の時に、飛行機が着陸できるように橋幅を広くしたとのこと。そういえば名島橋付近の道路線形は直線的ですね。

別説として、路面電車導入説もあります。しかし、名島橋のすぐ脇には、既に西鉄貝塚線が開通しており、真偽のほどは不明です。



▲名島橋(昭和8年完成)



▲名島川橋梁(大正12年完成)

因みに、この西鉄貝塚線の橋梁は、多々良川に架かっているのに、なぜか**名島川橋梁**という名前です。

名島川橋梁も、橋長211.8m、16連鉄筋コンクリートアーチ橋と立派な規模ですが、名島橋ほどおしゃれでは無いため、土木遺産の選から漏れたのかもしれませんが。(私見です)

名島にはかつて水上飛行場があり、昭和5年から9年まで、福岡～大阪1日1往復と福岡～上海の国際定期便が運行されていました。また、昭和6年にはリンドバークが世界1周飛行の途中に訪れています。

飛行場跡地周辺は埋立が進んでおり、水上飛行場の面影はありません。ただ、名島城跡と城浜団地に挟まれた四角い地形の戸建て住宅街が、飛行場の形跡を残しています。

このような建設当時の状況から、名島橋は福岡市の陸路の玄関口としてだけでなく、国際空路の玄関口としての役割を担うゲートブリッジとして設計されたのではないかと思います。

現在の交通量にも十分対処できる規模、国際性豊かな景観等は、当時の技術者が持っていた先見の明を敬服させるに十分なものですね。



▲名島水上飛行場跡石碑

九州北部豪雨災害復旧を体験して

大光技術コンサルタント(株)
石井 恒 央

平成24年7月、1週間ほど続いたであろうか毎日のように激しい集中豪雨のなか、八女市より災害復旧支援要請の一報が入った。

テレビや新聞で連日報道されていたので少しは知っていたが、八女市はかなりの災害が起きている模様だ。

私も測量業者なので災害復旧は何度も経験しているが、今回の豪雨災害は規模が違った。

車を走らせ、九州自動車道の八女インターを降り、災害現場に向くと徐々に災害の全貌が見えてきた。

河川は氾濫、何百本もの流木が溢れ、山は土砂崩れを起こし建物、道路、田畑を無残に壊し、啞然とする光景が次々と目に入ってくる。

さらに車を進めていくと、幅200m高さ40m程度だろうか、身の毛がよだつ光景が目前に迫った。□

対岸には民家、幸いにも土砂崩れには巻き込まれていなかったが住民の方は恐怖どころではなかっただろう。見ているだけでも恐怖を感じる崩壊現場だった。

私が自然の恐ろしさを目の当たりにした瞬間だった。

あれから2年ほど経つが、いまだに復旧工事は行われている模様である。被災者の方々に心よりお見舞いを申し上げ、一日でも早く、あの穏やかな自然に囲まれた八女市に蘇ることを願っている。



▲ 八女市の土砂災害現場

三筑小学校6年生・測量体験学習

測量委員会 上野 稔

12月12日、福岡市立三筑小学校6年生の児童104名、井上校長先生、担任の鈴木先生・橋口先生・川手先生の方々と一緒に測量の体験学習を行って頂きました。

はじめに、福岡国土建設専門学校の先生方から測量の歴史や、測量と算数の関連について説明を受け、その後、測量器具(アリダード)を使って、校舎の屋上までの高さを測ることに挑戦してもらいました。

児童たちは、アリダードについている0.2ミリの～0.4ミリの覗き穴から、校舎の屋上までの目盛を真剣に読み取り、読み取った値を計算式に当てはめ、校舎の高さを計算しました。

つぎに、実際に最新の測量機器(トータルステーション)を使って校舎の高さを測定すると、児童たちが計算した測定値との差が僅かだったため、大きな歓声があがった。

その後、児童たちからトータルステーションの測定範囲や、機器の値段などいろいろな質問が出るなか、測量体験学習が終了しました。

今回の測量体験を機に、測量に対して少しでも興味を持ってくれることを期待しています。

先生方、児童のみなさん有難うございました。



▲アリダードを覗き測定中



▲トータルステーションで測定中

アリダードは、定規の両端に覗き穴を開けた板と、定規の長さの1/100で目盛を刻んだ板に馬毛を張った板の簡単な3枚構造で出来ています。



平成26年度講習会

当協会では、公共事業を担う地域企業の経営安定化を推進し、市民生活の安定と地域社会に寄与することを目的に、国土地理院九州地方測量部木村測量課長、福岡市当局から各部局の方々など、多方面からの講師をお迎えして講習会を開催した。

今年度から、(一社)全国測量設計業協会連合会の設計CPD認定と、(公社)日本測量協会との共催による測量CPD認定を受け、協会会員以外の方にも参加を呼びかけ多数の受講者があった。

開催日：平成26年9月2日(火)

場所：天神ビル会議室

(講師名敬称略)

- ◆「飲酒運転撲滅について」
福岡市市民局生活安全部生活安全課生活安全専門員 吉岡和嘉
- ◆「道路管理瑕疵に関する情報提供について」
福岡市道路下水道局管理部道路維持課調整係長 溝尻吉充
- ◆「委託成績評定について(現状と展望について)」
福岡市財政局技術管理部技術監理課土木・防災係長 坂井恵一
- ◆「入札制度について」
福岡市財政局財政部契約監理課長 山口久嘉



▲道路管理瑕疵に関する情報提供について

開催日：平成26年10月2日(木)

場所：(公財)福岡県地域福祉財団クローバープラザ 研修室

- ◆「基準点に関する国土地理院の施策・三角点の標高成果改定及び基準点体系について」
国土地理院九州地方測量部 測量課長 木村 勲
- ◆用地測量について
(一社)福岡市設計測量業協会 測量委員会 村田嘉文
- ◆「福岡市橋梁長寿命化修繕計画」に基づく橋梁補修について
福岡市道路下水道局管理部道路維持課長 中島賢治
- ◆「既設管渠の耐震検討について」
(株)シビルソフト開発 サポート部課長 中川信男
- ◆「ボックスカルバートの耐震継手について」
(株)ヤマウ 開発設計部主任 丸山貴吉
- ◆災害支援活動について
(一社)福岡市設計測量業協会 防災委員会 福澤一博



▲福岡市橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁補修について

参加者の声

9月2日(火)

- ・ 飲酒運転撲滅について、多くの市民へ推進していきたい
- ・ 今後も道路構造物の維持管理について、新しい取組があれば毎回報告してほしい
- ・ 品確法における資格の重要性が高まるという感じを得た
- ・ 入札制度については、新しい情報を聞け有意義であった

10月2日(木)

- ・ 国土地理院の方の講習は、日頃聴く機会がないので、次回も外部(行政)の方の講義をお願いしたい
- ・ 国土地理院の方の講習は、限られた時間の中で非常に理解しやすい内容であった
- ・ 国土地理院の基準点・水準点の取組みを分かり易く説明してもらい非常に良かった
- ・ 三角点の標高改定について、用地測量について分かり易かった。今後の業務に反映したい
- ・ 用地測量での留意点については、今後の業務においても気を付けて作業したい
- ・ 用地測量について実際に即した例題を使ってほしい
- ・ 社会資本である橋梁長寿命化は、福岡市だけではなく国全体が行わなければいけない事業である
- ・ 我々設計コンサルも点検及び補修設計を手掛けられるよう人材育成が必要であると思われる
- ・ 既設管渠の耐震検討については、業務に反映できる内容であった
- ・ 災害支援活動について、各社の区域分けを明確にしてほしい

平成26年度技能功労者表彰

11月25日、福岡国際ホールにおいて、平成26年度福岡市技能功労者・技能優秀者の表彰式が開催された。本年度表彰では、当協会から、(株)大高開発の大塚憲一氏に高島福岡市長(代読:重光福岡市経済観光文化局長)より賞状が授与された。

大塚氏は、昭和43年より測量設計業務に従事し、以来46年間技術の修得と技能の研鑽を積み重ね精励し続けてこられた。今後は、地籍の明確化を図る国土調査業務の経験をもとに、用地測量の成果等に対して、後進の指導にあたって頂きたいと思いをします。

この度(一社)福岡市設計測量業協会の御推薦により平成26年度福岡市技能功労者として表彰されましたことは、ひとえに協会並びに協会員の方々のおかげと思っております。

ここに厚く御礼申し上げます。

思い起こせば、親の関係で昭和43年より測量会社に入り、山口、宮崎、鹿児島と現場から現場の毎日でした。当時は真数表、対数表を使いながら手回しの計算機の時代で、雨が降る日が休みと言う、今では考えられない日々でしたが、今となってはとても懐かしい思い出です。

特に宮崎や鹿児島の、人の良い現地の人々との交わりが忘れられません。▪

在職中に熊本の測量専門学校で測量の基礎を学び、昭和48年、会社を設立して現在に至っております。▪

設立当時は、平板とバーニアのトランシットでルーペを首にかけて測量していましたが、距離もレーザーで測り、計算機も進歩して、現在の電子基準点の時代がくるとは、何とも言えない感慨深い思いです。

これからも元気でいられる限りは、すこしでも業界および社会のお役に立つべく、働かせてもらうつもりです。▪

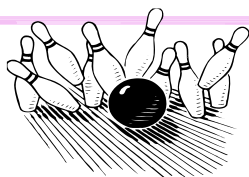
最後に40数年にわたり、いろいろお世話になった方々に感謝▪
し、当協会のさらなる発展をお祈りいたします。▪

ありがとうございました。

(株)大高開発 大塚憲一



▲ 表彰を受けた 大塚氏



第34回ボウリング大会開催

11月21日、早良区の西新パレスにおいて、第34回ボウリング大会を開催した。

前回の優勝チーム、(株)ジオテック技術士事務所 香月裕宣氏の始球式での豪快なストライクがゲームの皮切りとなり、各レーンでも次々にストライクやスペアが盛んに出て歓声があがった。

なかでも女性の躍進がめざましく、(株)カクマルの男女混合チームが初の団体優勝を飾り、優勝トロフィーとともに副賞が贈られた。

個人戦の発表にも、会場からの拍手で盛り上がり、会員の親睦を深めた表彰式となった。

○団体の部(1チーム3~4人編成 2ゲームスコアの平均点)

優勝	(株)カクマル	144点
準優勝	(株)ジオテック技術士事務所	134点
第3位	メック(株)	130点

○個人の部(2ゲームスコアの合計点)

優勝	磯部和之 [(株)ジオテック技術士事務所]	345点
準優勝	石丸正彦 [(株)ジオテック技術士事務所]	338点
第3位	松尾里美 [(株)カクマル]	324点



▲ 優勝した(株)カクマルチーム

一般社団法人 福岡市設計測量業協会(市測協)会員数 正会員 72社・賛助会員 18社

平成27年1月現在

設計部会 35社

㈱アジア建設コンサルタント	朝倉コンサルタント(株)	㈱旭建設コンサルタント	エイコー・コンサルタンツ(株)
エコーエンジニアリング(株)	㈱エム・ケー・コンサルタント	㈱エムテックエンジニアリング	(有) 鐘ヶ江設計
九州コンサルタント(株)	極水設計(株)	㈱クマガイ設計測量事務所	玄洋技術(株)
五光設計(株)	㈱サンコンサル	産業開発コンサルタント(株)	(有)シティ・シビル・コンサルタント
㈱昭和建設コンサルタント	㈱新世コンソーシアム	㈱スリーエヌ技術コンサルタント	㈱西部技術コンサルタント
ダン技術設計(株)	大洋建設コンサルタント(株)	㈱大陸総合コンサルタント	㈱拓研コンサルタント
㈱大建	㈱東洋技術コンサルタンツ	㈱トキワ・シビル	㈱都市計画設計事務所
第一総合技術(株)	都市企画センター(株)	(有)野田土木設計事務所	福岡建設コンサルタント(株)
㈱富士総合技術コンサルタント	㈱不動エンジニアリング	メック(株)	

測量部会 37社

㈱アイエスプランニング	㈱アオイ	㈱アースプランニング	㈱イブミ
㈱イーディシー	井野測量設計	㈱エイティティ福岡	榮邁測量設計(株)
榮和測量設計(株)	㈱ガイア	春日総合技術(株)	基洲測量(株)
共和航業(株)	㈱九州技術協力	九州測量設計(株)	㈱コンテック
(有)光陽測量設計	(有)国土調査事務所	三栄測量設計(株)	㈱ジオ
新日本測量設計(株)	(有)セイワ測量設計	㈱測栄舎	㈱タイセイ技建
大正測量設計(株)	㈱高田工務所	㈱大高開発	大光技術コンサルタント(株)
大樹測量設計(株)	㈱デヴァイス藤原	㈱トーコン	㈱豊田工務所
㈱中村測建	西技測量設計(株)	福高総合技術コンサルタント(株)	明和技研(株)
芳野測量設計(株)			

賛助会員 18社

大野コンクリート(株)	㈱カクマル	㈱柏木興産本店	㈱九コン
㈱実測	㈱ジオテック技術士事務所	㈱シティプラン	日本乾溜工業(株)
日本地研(株)	日本ヒューム(株)福岡支社	福岡コンクリート製品協同組合	㈱福岡ヤマックス
福井コンピュータ(株)九州営業所	㈱松尾測機	松永測機(株)	㈱水上洋行
水谷建設工業(株)福岡支店	㈱ヤマウ		

お知らせ

【新入会】

- ・(有)鐘ヶ江設計 代表取締役 鐘ヶ江 幸義
〒812-0015 福岡市博多区山王1丁目1-32-501 TEL 434-6638 Fax 477-5131

(平成26年11月)

【代表者変更】

- ・西技測量設計(株)
- ・エイコー・コンサルタンツ(株)
- ・㈱アースプランニング
- ・福岡建設コンサルタント(株)

- 代表取締役 鶴田 正治
- 代表取締役 青木 克彦
- 代表取締役 小倉 充彦
- 代表取締役 永徳 明彦

(平成26年 6月)

(平成26年11月)

(平成26年11月)

(平成26年11月)

